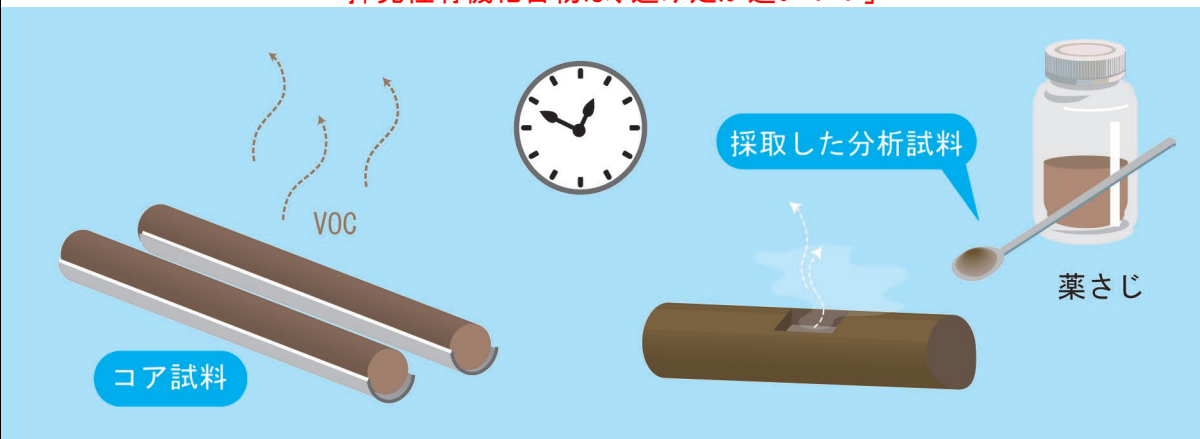


タイトル	コア試料から土壌試料を採取するまでに時間がかかりすぎた！		
工種	<input checked="" type="checkbox"/> 調査 <input type="checkbox"/> 対策	フェーズ	<input type="checkbox"/> 計画 <input checked="" type="checkbox"/> 作業中
対象汚染物質	第一種特定有害物質		
土地履歴	<input checked="" type="checkbox"/> 宅地 <input checked="" type="checkbox"/> 工場跡地 <input checked="" type="checkbox"/> 特定有害物質使用工場 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
説明図	<p style="color: red; font-weight: bold;">「揮発性有機化合物は、逃げ足が速い！！」</p> 		
作業内容	ボーリング調査（有害物質による汚染深度、濃度の確認）、土壌試料、試料採取		
使用機器	ボーリングマシン、保冷容器		
不具合事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・コア試料から土壌試料を採取後、大気開放状態にしておいたため、揮発性有機化合物について分析結果を正當に評価することができなかった。 			
予防措置(計画者、監督者、作業員)			
<ul style="list-style-type: none"> ・コア試料の採取後、直ちに土壌試料を試料容器に保存できるよう手順書を作成しておく。(計画者、監督者) ・役割分担（ボーリング作業、地質観察、コア試料採取）を明確にする。(計画者、監督者) ・分析試料の採取は、揮発性有機化合物の揮散を防止するため、なるべく土壌試料採取場所の近くで行う。(計画者、監督者) ・採取用具、容器などを機能的、計画的に配置する。(作業員) ・ボーリング掘進計画に応じた土壌試料採取を行う。(作業員) 			
応急措置			
<ul style="list-style-type: none"> ・何らかの事情で土壌試料の採取が遅れるような事態が生じた場合は、一時的にボーリング調査を中断するよう監督者に報告し、事態の改善方法を検討する。 			
その他、留意事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・揮発性有機化合物は、熱によっても揮発が進むので、温度の高いところや日なたでの作業は避ける。 ・ほぐすと揮発してしまうため、ほぐさずになるべくコアの中心部から団塊状に土壌試料を採取する。 ・振動により削孔する機械を用いた場合、熱が発生し、それにより揮発が促進されるので、注意が必要である。サンプラーの口径を大きくすることも有効である。¹⁾ ・スリーブ内蔵二重管サンプラー(コア試料をパック材で包むような機材)などの、使用を検討する。²⁾ ・発注者の承諾を得て、写真の撮影などの作業より分析試料の採取を先に行うことが望ましい。 			
関連法規等、出典	・ 1) 2) 土壌汚染対策法に基づく調査及び措置に関するガイドライン改訂第 3.1 版 Appendix-11_1-2		
キーワード	ボーリング調査、深度方向調査、揮発性有機化合物 試料採取(サンプリング)		
発生頻度	<input type="checkbox"/> 多 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 少	重大性	<input type="checkbox"/> 致命的 <input checked="" type="checkbox"/> 重大 <input type="checkbox"/> 軽微

タイトル	コア試料から土壌試料を採取するまでに時間がかかりすぎた！
説明図	<p style="text-align: center;">「揮発性有機化合物は、逃げ足が速い！！」</p> 
作業内容	ボーリング調査（有害物質による汚染深度、濃度の確認）、土壌試料、試料採取
指示事項	<ul style="list-style-type: none">・採取用具、試料容器などを機能的に配置すること。・コア試料の採取後、試料容器に密栓するまでの時間を極力短くすること。・コア資料からの採取後、試料容器に密栓するまでの時間を極力短く出来ない場合は、一時的にボーリング調査を中断するよう監督者に連絡すること。
どんな不具合が起こりうるか？	
だから私たちはこうします	
本日の重点施策	ヨシ!!
サイン	